

中央区は交通事故
多発危険地帯

都市の中核機能や主要道路が集中する中央区は、区外からも人や車が多数流入し、市内で最も多く交通事故が発生しています。発生件数とともに死傷者数も一番多く、下のグラフの通り、全区平均の約二倍もの高い数字になっています。

また、昨年の死亡事故の調査によると、スピード違反による人身事故では、二・九件に一人が死亡しており、シートベルト非着用者の死亡率は着用者の十七倍にもなっています。運転者の「スピードダウン」と併せて、子どもをはじめとする同乗者の「シートベルト着用」も習慣付けましょう。さらに、区内での交通安全には、「二倍の注意」を心掛けましょう。

平成13年交通事故発生状況

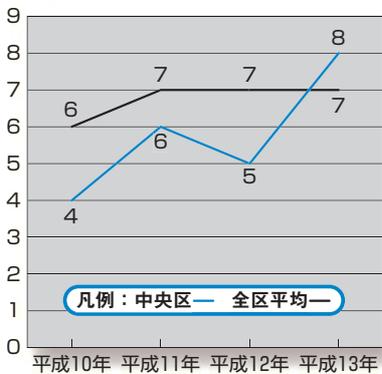
※中央区・() は前年比較
 事故件数2,292件 (+147件)
 死亡者8人 (+3人)
 負傷者2,861人 (+282人)

中央区は危険が2倍!

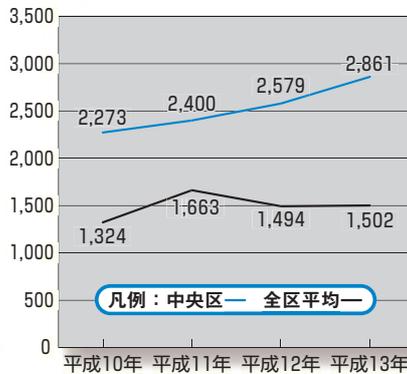
区内で1日約8人が死傷
 区内で1日約6件事故が発生
 区平均で約4人(全区で約41人)
 区平均で約3件(全区で約34件)

九月十七日現在十一人が死亡

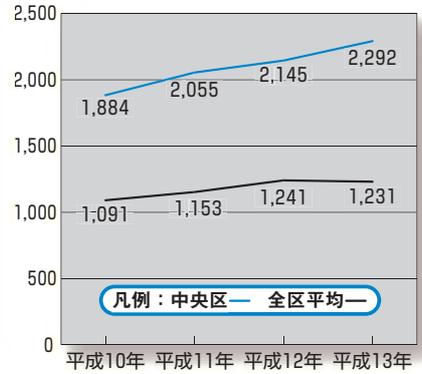
交通事故死亡者数



交通事故負傷者数



交通事故発生件数



一人ひとりの力が
事故防止の第一歩

阪神淡路大震災など一度に大勢の死傷者が発生する自然災害に対して、交通事故は、知らぬ間に毎日確実に発生し続ける「日々災害」といわれる人的災害です。平成元年からの統計では、区内で発生した交通事故で、毎年二千二百人以上もの死傷者が発生しています。

また、少子高齢時代を迎え、今後、さらに高齢者の交通事故の増加が予想されており、社会的に大きな課題にもなっています。

昨年、子どもや高齢者を対象にした交通安全教室をはじめとした啓発運動に、延べ二万七千人以上の区民が参加しました。さらに区内には、日ごろ交通安全に取り組んでいる町内会や職場などの団体が千六百以上あります。

「日々災害」の交通事故を防止するためには、一人ひとりの力が大切な第一歩となるのです。

平成14年度緑丘小学校
交通安全最優秀作品



ポスター部門
 うおずみともひろ
 5年 魚住智広君

もしもの時に・・・

交通災害共済に加入しましょう
 一人2口(年600円)で
 最高240万円の見舞金

〔詳細〕区役所地域振興課交通対策担当
 ☎(231)2400 (内線253)

交通事故の示談、保険請求など
 交通事故相談員が無料でアドバイス
 毎週月曜日～金曜日
 午前9時30分～午後4時
 〔詳細〕市役所1階(北1西2)
 市民の声を聞く課☎(211)2042



「交通安全は家庭から」を掲げ活動する
 「交通安全母の会」の皆さん

「交通安全母の会」や「交通安全指導員会」へ加入してみませんか



日夜、子どもたちの安全を守る「交通安全指導員会」の皆さん

お問い合わせはお住まいの町内会へ

〔詳細〕中央区交通安全運動や交通安全教室へ参加してみませんか
 ☎(271)1095